

甲南だより

No.190

平成27年5月28日
鹿児島県立甲南高等学校
鹿児島市上之園町23番地1
TEL (099) 254-0175
題字 秋元望花 (本校教諭)

みんなでつくる「わづぜ甲南」

校長 海江田 修誠



甲南高校に赴任して、あつと言う間に二回目の春がやつてきました。四季の移り変わりを生徒とともに過ごすことができる喜びを感じた一年でした。この一年の大きな出来事と言えば、二中の御出身である名城大学終身教授の赤崎勇先輩が本県出身者として初めてノーベル賞を受賞されたことでした。近々創立百十周年記念事業の一環として同窓会の皆様によつて受賞を記念する碑が建てられる予定です。

昨年度は「もっと、わざと甲南にしよう」と呼びかけ、生徒も期待に応えてくれました。この勢いは今年度もまた、事前の先生方の予想どおり、劣勢だった今年度の甲南高校でも、十三対四で圧勝しました。事前は劣勢だった今年度の甲南高校は、四連覇を達成しました。

平成27年度入学式

新たなるステージをめざす甲南高校に第69期生321人の若人來たり

4月7日(火)、第66回入学式が多くの方に見守られながら厳かに挙行されました。

吹奏楽部の奏でる『威風堂々』の中、やや緊張気味の新入生は温かい拍手に迎えられ、堂々と入場しました。

最初に海江田校長が壇上で見守る中、1組から8組まで、8人の担任がクラス毎に一人ずつ新入生321人を呼名しました。そして海江田校長の入学許可の宣言の後、新入生代表の上拾石遥菜さんが、甲南高校生として目標達成に努力すると力強く宣誓をしました。

海江田校長は式辞の中で、生徒・先生が一体感を持って頑張る甲南高校を好きになってほしいと述べました。新しいステージに向かう甲南高校の担い手となる新入生への期待を強く感じさせる内容でした。

小林祐二PTA会長は祝辞の中で、「心の顔を上げて高校生活を送ろう」と心に余裕を持った生活を送ることの大切さの話をされました。

生徒会長の福重望乃さんは、新入生に対し「『今』という時間を大切にして楽しむ」など2つのアドバイスをし、甲南高校の校訓を心に刻み、一緒に伝統を引き継ごうと歓迎の言葉を述べました。

入学式後の各教室では初めてのHRが行われ、HR資料を通して、甲南高校での生活のあり方を説明する担任の言葉に熱心に耳を傾ける新入生の姿が見られました。



甲南高校に赴任して、あつと言う間に二回目の春がやつてきました。四季の移り変わりを生徒とともに過ごすことができる喜びを感じた一年でした。この一年の大きな出来事と言えば、二中の御出身である名城大学終身教授の赤崎勇先輩が本県出身者として初めてノーベル賞を受賞されたことでした。近々創立百十周年記念事業の一環として同窓会の皆様によつて受賞を記念する碑が建てられる予定です。

甲南高校に赴任して、あつと言う間に二回目の春がやつてきました。四季の移り変わりを生徒とともに過ごすことができる喜びを感じた一年でした。この一年の大きな出来事と言えば、二中の御出身である名城大学終身教授の赤崎勇先輩が本県出身者として初めてノーベル賞を受賞されたことでした。近々創立百十周年記念事業の一環として同窓会の皆様によつて受賞を記念する碑が建てられる予定です。

甲南高校に赴任して、あつと言う間に二回目の春がやつてきました。四季の移り変わりを生徒とともに過ごすことができる喜びを感じた一年でした。この一年の大きな出来事と言えば、二中の御出身である名城大学終身教授の赤崎勇先輩が本県出身者として初めてノーベル賞を受賞されたことでした。近々創立百十周年記念事業の一環として同窓会の皆様によつて受賞を記念する碑が建てられる予定です。

甲南高校に赴任して、あつと言う間に二回目の春がやつてきました。四季の移り変わりを生徒とともに過ごすことができる喜びを感じた一年でした。この一年の大きな出来事と言えば、二中の御出身である名城大学終身教授の赤崎勇先輩が本県出身者として初めてノーベル賞を受賞されたことでした。近々創立百十周年記念事業の一環として同窓会の皆様によつて受賞を記念する碑が建てられる予定です。

甲南高校に赴任して、あつと言う間に二回目の春がやつてきました。四季の移り変わりを生徒とともに過ごすことができる喜びを感じた一年でした。この一年の大きな出来事と言えば、二中の御出身である名城大学終身教授の赤崎勇先輩が本県出身者として初めてノーベル賞を受賞されたことでした。近々創立百十周年記念事業の一環として同窓会の皆様によつて受賞を記念する碑が建てられる予定です。

甲南高校に赴任して、あつと言う間に二回目の春がやつてきました。四季の移り変わりを生徒とともに過ごすことができる喜びを感じた一年でした。この一年の大きな出来事と言えば、二中の御出身である名城大学終身教授の赤崎勇先輩が本県出身者として初めてノーベル賞を受賞されたことでした。近々創立百十周年記念事業の一環として同窓会の皆様によつて受賞を記念する碑が建てられる予定です。

伝 統 を 創 る

一十七年度転入の先生方

- ①前任校
②趣味・特技
③甲南生に一言



教頭
荒田 修

- ①志布志高校
②スポーツ観戦(特に野球)
③勉強に打ち込む真剣なまなざし、校庭に響く部活動



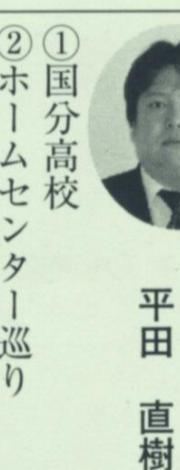
国語
櫻木 賢一

- ①大島高校
②時間短縮料理の研究
③緑あふれる、エネルギーに満ちたこの地で共に毎日を過ごせることを大変嬉しく思います。「剛明直」の校訓のもと互いに切磋琢磨し日々成長していこう。



数学
中村美保子

- ①国分高校
②ホームセンター巡り
③高校2年の時、国語が学年でビリでした。勉強ではあまりいい思い出はありません；苦労もしました。ですが卒業して初めて母校の凄さ・すばらしさを感じます。あなた方が通っている学校はそのような学校です。誇りを持とう！そしてチャレンジしよう！



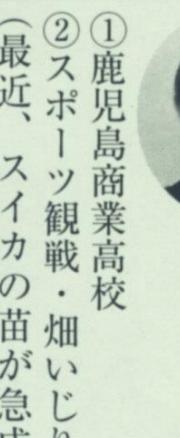
保健体育
平田 直樹

- ①鹿児島商業高校
②スポーツ観戦・畑いじり（最近、スイカの苗が急成長しています！）



家庭
森園 礼子

- ①鹿児島商業高校
②スポーツ観戦・畑いじり（最近、スイカの苗が急成長しています！）



懸命な姿が印象的です。進路実現のために頑張ってください。

が機敏にできる生徒達という印象を持ちました。様々な事に挑戦し、粘り強く努力し、充実した高校生活にしてほしいと思います。

大変嬉しく思っています。皆さんの夢の実現に向け、努力していきます。一緒に力を貸してほしいと思います。

また一日でした。様々な事に挑戦し、皆さんとともに高めあっていきましょう！

の青春を心から謳歌する姿に感動し、甲南高校に赴任できることを大変嬉しく思いました。新たに精進していきたいと思いません。

①県教育庁高校教育課
②キヤンプ、テニス
③毎朝校門で生徒諸君から元気をもらっています。そして甲南高校という素晴らしい学校で勤務できることを大変嬉しく思っています。自分の夢・目標を叶えるために、今やるべきこと一生懸命取り組んでください。自分で決める。自分で決まる。



事務長
中尾 純則

①伊集院高校
②ドライブ
③高校三年間は、何を思い、何と出会うかで人は変わつてきます。自分の興味・関心のあることだけではなく自分の視野を広げる努力をしていきましょう。



地歴公民
小掠 貴之

①松陽高校（新採）
②ドライブ・読書
③大きな目標を達成するためには、小さな目標をコツコツと達成していくことが必要です。学問も同じことが言えます。日々努力を積み重ねて、一緒に成長していきましょう。よろしくお願いします。



数学
有満 光崇

年でビリでした。勉強ではあまりいい思い出はありません；苦労もしました。ですが卒業して初めて母校の凄さ・すばらしさを感じます。あなた方が通っている学校はそのような学校です。誇りを持とう！そしてチャレンジしよう！

皆さんが真摯に学び、部活動に精一杯取り組む姿を見て感動しています。私も日々向上心を持って臨みたいたいと思います。家庭科で沢山のこと学んで、人間力を高めてくださいね。



芸術（書道）
秋元 望花

①鹿屋農業高校（新採）
②旅行・温泉
③探してみてください。学校にはたくさんの芸術作品があります。それぞれにある芸術の美しさを感じ、心を豊かにしてほしいです。そして、皆さんと日々成長していきたいと思います。



事務室（図書館）
宮原 まみ

①徳之島高校
②読書・絵本収集
③「活字の林をさまよい思考の泉のほとりにたたずむ」（椋鳩十）大好きな言葉のひとつです。西校舎三階の図書館が、甲南生にとって魅力ある場所になります。



事務室
児浦 清文

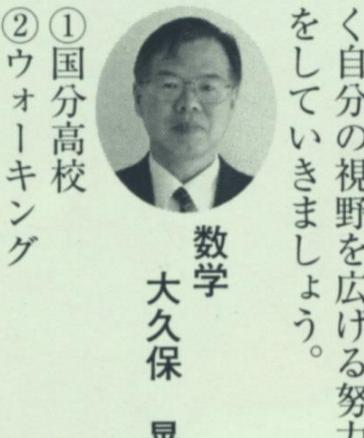
①学校勤務は初めてです。
②剣道
③気を基盤として頑張りますので皆さん宜しくお願ひします。



事務室
福島 愛

①甲南高校が初任です。
②読書
③甲南生の皆さんと少しでも多く関わり、一緒に楽しんでいます。よろしくお願いします。

①県教育厅始良・伊佐教育事務所（総務課長）
②家庭菜園、ゴルフ、釣り
③二十三年ぶりの学校勤務です。初めての甲鶴戦は、勝利もされることながら、生徒の皆さんの一挙手一投足に感動・感動・また感動でした。そして新たな感動がとも楽しみです。



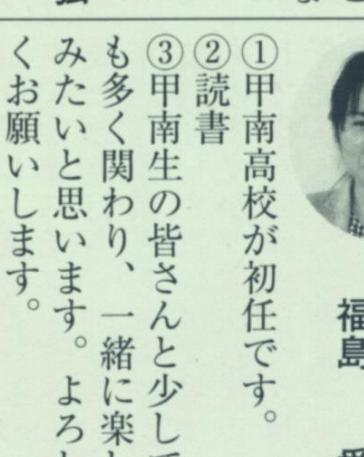
数学
大久保 晃

①国分高校
②ウォーキング
③歴史と伝統のある甲南高校に赴任して、大変されました。そこで新たな感動がある甲南高校に赴任でき、とても楽しみです。



英語
太田 陽子

①沖永良部高校
②バドミントン
③先日の甲鶴戦は、皆さんに感動・感動・また感動でした。そして新たな感動がとも楽しみです。



事務室
西川 幸弘

①大口高校
②使用済の珍しい切手収集
③部活動や清掃など、一生

紅紫繚亂

第四十五回 甲南・鶴丸スボーツ文藝会

四月十七日午前八時、甲南生と鶴丸生の思いが通じたような恵まれた天候の下、第四十五回甲鶴戦が始まつた。例年と異なり、新しく生まれ変わつた補助競技場近くに集合した甲南生・先生方の思いは、ただひとつ。目指せ、四連覇！ わっぜ甲南魂を見せつけろ！

た競技は全て圧倒的な強さを見せ、各会場で熱戦を繰り広げた結果四連覇を確信した甲南生が、最後に集うのは野球場。



の開会式直後に行われたラグビーだった。初めて全校応援というプレッシャーの中、敵地へ走りトライを決める選手の背中はとても逞しかつた。この勢いがあれば絶対勝てる、多くの者が奮い立つた。

そして、甲南生はそのラグビーの勢いに乗つた。昨年惜敗したサッカー部も勝利を収めたときは校長先生始め多くの先生方が驚いた。負け知らずの水泳部も勝ち、体育

うやく甲南生になれる」というのは、いつからか入学したての新一年生に贈られた言葉だ。開会式では先輩方に圧倒されエネルギーを送る腕も胸までしか上がりつていなかつた一年生が、野球場では頭の上まで腕を上げ応援していた。走者が壘へ出ると「甲南！ 甲南！」と飛んだ。甲南ジャンプと言われるこの伝統を体験し、一年生はやっと甲南生になつた。

点が取られてしまうたび甲南サイドのボリュームは上がり、十五対六と大差のついた七回表には、先生方

種 目	得 点	
	甲 南	鶴 丸
ラ グ ビ 一	14	29
陸 上 競 技	58	50
サ ッ カ 一	2	1
ハ ン ド ボ ー ル	26	24
男 子 バ ス ケ ッ ト	80	66
女 子 バ ス ケ ッ ト	59	37
男 子 バ レ 一	2	0
女 子 バ レ 一	2	0
卓 球	9	4
バ ド ミ ン ト ン	10	5
水 泳	144	111
テ ニ ス	2	3
ソ フ ト テ ニ ス	8	4
剣 道	0	5
弓 道	88	84
空 手 道	4	2
野 球	6	19
総 合	13種目	4種目



し、四連霸を果たすことができた第四十五回甲鶴戦。翌月曜日には全校朝礼で三本締めをして勝利を祝い、新しい目標を設定した。「創立百十周年で五連霸という偉業を達成する」。すでに第四十六回甲鶴戦への戦いは始まっている。勉学に励み、心をひとつにすることを忘れず、この感動を糧に毎日をがんばろう。そして必ず五連霸を成し遂げよう。

も全員総立ちになり檄を飛ばした。吹奏楽部は三時間吹きっぱなし、応援団は三時間立ちっぱなし。部活も学年も関係なく、その場にいた甲南関係者全員が声を枯らして応援した。心がひとつになつた瞬間だった。

卒業生の大学合格状況について

数学・理科の新教育課程に対応した初年度入試！しかし、数学・理科以外にも新課程を意識した出題が…。7科目型平均点は、文系で上昇、理系で前年並。

そのような状況下であつたが、本校卒業生は今年度も大健闘を見せた。国公立大学合格者は278名（うち現役合格者は214名）を数え、8クラス時代になつての最多を記録した。難関大においても、京都大学1名（現役1名）・一橋

教科別に分析すると、昨年から大幅に平均点がアップした「国語」の貯金分を、
「数学②」と「地歴」の平均点ダウンで食いつぶす形となり、「英語」は例年並みであつた。その結果、全国の7科目型平均点は文系が前年差+9点、理系が前年差+1点となつた。なお、新課程の「生物」と旧課程の「物理I」の平均点に20点以上の開きが出たため、理科②において17年ぶりの得点調整も行われた。

ら大きな変化はなく、総受験者数は530、537人であつた。志願者数の現卒別の内訳をみると、現役生の18歳人口の増加に伴い、昨年から約1万2千人の増加、既卒生は約1万3千人の減少となつた。既卒生の減少は今春入試の大きなトピックであつた。

今年の大学入試センター試験は1月17・18日の2日間にわたり、全国690の試験場で実施された。志願者数、受験者数とも前年比9・7%と、わずかに前年か

国公立大学	新卒	旧卒	計
北海道大学	2	1	3
東北大學	1		1
東京大學			
東京外国语大学	1		1
お茶の水女子大学	2		2
一橋大学		1	1
東京工業大学		1	1
東京学芸大学	1		1
横浜国大	3		3
京都大学	1		1
大阪大学	1	2	3
神戸大学	2	1	3
広島大学	11	4	15
九州大学	21	6	27
九州工業大学	5	1	6
熊本大学	22	5	27
鹿児島大学	94	25	119
その他の	47	17	64
小計	214	64	278

私立大学	新卒	旧卒	計
青山学院大学		3	3
学習院大学	1		1
慶應義塾大学	4	1	5
中央大学	4	3	7
東京理科大学	2	2	4
法政大学	1	4	5
明治大学	4	7	11
立教大学	2	2	4
早稻田大学	2	4	6
近畿大学	1	9	10
関西学院大学	4	5	9
同志社大学		7	7
立命館大学	11	15	26
西南学院大学	17	2	19
福岡大学	14	22	36
その他	55	44	99
小計	122	130	252

さて、新3年生の大学入試センター試験は全教科が新課程からの出題となる初年度試験となる。理科・数学は昨年度の経験を踏まえ、その他の教科においては不透明な部分がどうしても残るが、いかなる出題にも耐えうる準備はしていく予定である。大学の入試制度もどんどん変化している。各大学の入試要項等に対してもアンテナを高くしておかなければなければならない。

「感性を高め知識と融合」



PTA会長

新緑の木漏れ日を受け
て、きらきらと輝き流れる
小川。自分が酸素だつたら
誰と一緒に手を繋いで泳ご
うか?水素だつたらどの岩
隙(格子欠陥)をすり抜け
ようか?考へていてるうち
に、原子となつた自分が川
の中にある。次に、川岸に
立つ史跡に手を触ると、
今度は瞬時に数百年の時を
超え、先人の声や息遣いが
聞こえてくる。案内板のわ
ずか数行の説明で、当時の
人々の生活や世界に勝手に
飛び込んでいる。



PTA副会長

自分を信じて

今年も気持ち新たに甲南生全員が、それぞれの想いを胸に新年度を迎えたことと思います。甲鶴戦においても、高校生活最後の一年のスタートである二年生、いよいよ学校の中心として頑張つていかなければならぬ二年生、そしてそんな先輩の姿に、改めて甲南生としての自覚と、希望に胸ふくらませた一年生の姿がとても眩しく見えました。志を高くもつ甲南生ですので、たくさんの壁にぶつ

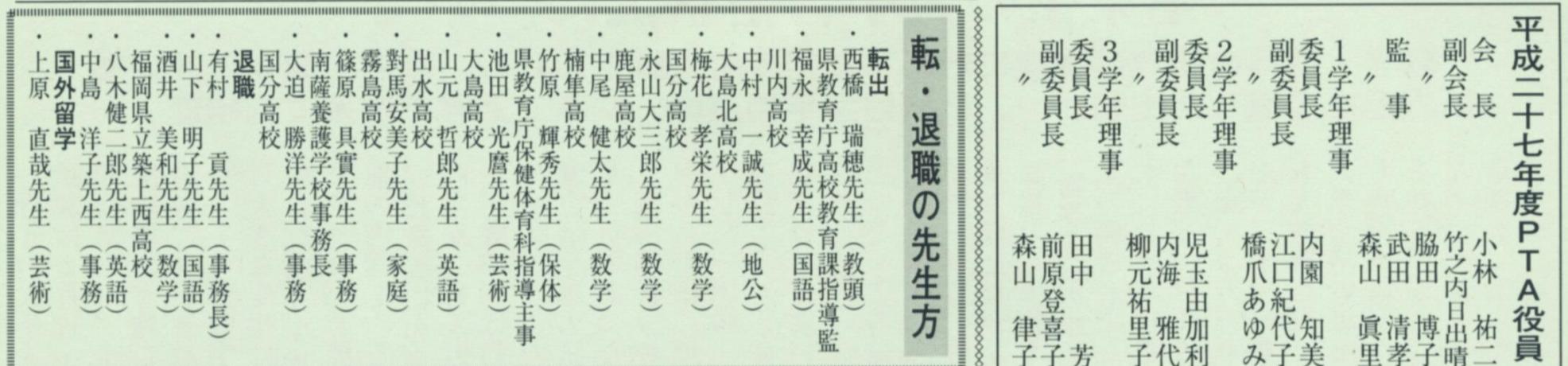


PTA副会長
竹之内田出雲

の中は情報で溢れかえり、私達はその中から、今、必要な事を見つけ出し、選ぶ目を持たなくてはなりません。しかし、選択を誤つてしまふことは、間違いに気付いた後、どのように修正していくかです。

何気なく時を過ごすよりも達成感を得られるのではありませんか。今はそれを信じて限りある時間を大事に過ごして下さい。

最後に、皆様が心地良い高校生活を送れるよう、PTA活動を通してお手伝いをしていくつもりですので御指導と御協力をお願い致します。



転・退職の先生方

1学年理事	内園 知美
委員長	江口 紀代子
副委員長	橋爪 あゆみ
2学年理事	
委員長	児玉 由加利
副委員長	内海 雅代
3学年理事	
委員長	柳元祐里子
副委員長	田中 喜子
副委員長	前原 登芳
副委員長	津子



今年の主な行事予定

9月5日(土)	8月24日(月)	8月24日(月)	7月17日(金)	7月6日(月)	6月30日(火)	6月16日(火)	5月25日(月)	5月13日(水)	5月8日(金)
第67回体育祭 実力・課題考査	始業式	終業式	クラスマッチ	1学期末考核	2学年修学旅行 (平成27年第2回甲南塾)	創立記念日	二中創立記念日	PTA総会	

